



お母さん業界新聞

2022 **4** Vol. 166

第4回

半径 **3** m の未来

Photo: BRUCE OSBORN



梅原亮介さん

みずほさん

朱梨ちゃん(3歳)

自分が愛されている存在であること、子どもたちに伝え続けたい

在宅か通勤か選べる仕事なので、今はできるだけ、家族を優先しています。お天気のいい日は家族で海までお散歩。ゆったりとした幸せで贅沢な時間です。娘のお世話や家事も少しずつ。お父さん業を楽しみたいと思います。(梅原亮介)

間もなく2人目の出産を控えています。今春から幼稚園に行く予定の娘は、まだまだママにべったり。妊娠して以来、やはり何かを感じるのでしょうか。「ママ〜!」と追いかけて来ることが多くなりました。私を必要としてくれていることを実感し、子どもが愛おしくなる瞬間です。子どもと離れたくない、でも働く自分も維持したい。そんな思いから、今は在宅で介護事務の仕事をしています。ほんの少しでも外とつながる時間があると、自分の生活も子育ても切り替えができ、子どもへの愛情が増すように感じます。

海を感じる壁の色と、吹き抜けのある広い玄関が気に入って求めたマイホーム。家族を「おかえり」と迎え入れる瞬間が好き。2人目が生まれてきたら、きっと今以上に、この空間に笑顔が増えるのではと楽しみです。

真面目で完璧主義の私。でも子育てに関しては、考えをあまり押し付けず、子どもの個性を受け入れたいと思っています。子どもには、ありのままの自分を好きになってほしい。そう思えるのは、母や姉の存在が大きいかもしれない。私とは全く違うタイプの姉に憧れ、良い影響を与えられました。同時に、姉とは比較することなく、私を見守り続けてくれた母にも、心から感謝です。

夫も私も親戚じゅう仲が良く、お正月に集まった子どもたちは総勢15人! 家族の中に社会があり、笑い合い、助け合いのできる関係が築かれています。子どもたちが自分も愛される存在であることを感じながら成長してくれたらうれしいですね。(梅原みずほ)

4月10日は「きょうだいの日」

▶ NPO 法人しぶたねは、きょうだいや、「きょうだいみたいなあの人」のことを思ったり、病気や障害のある子どものきょうだいたちを応援したりする、やさしい記念日になればいいなどの思いから、2019年「きょうだいの日」を制定▶ 病気や障害を持つ子どものきょうだいたちは不安や孤独、プレッシャーなど、辛さを抱きながら育っている。中には心身のストレスが大きく、大人になっても生きづらさを抱えるきょうだいも少なくない▶これが社会課題として認識されてきた近年、「きょうだいの日」のポスターやグッズ製作をはじめ、企業とのコラボ企画など、啓発活動が広がりを見せている▶定義には「病気や障害のあるなしにかかわらず、すべてのきょうだいの日」とある。そもそもきょうだいの存在って何? 喜びや悲しみを分け合い、体験や情報を共有することで育ち合うことに価値があるのだろう。きょうだいに「ありがとう」から始めたい。



イラスト:石坂 香

協力:一般社団法人日本記念日協会

特集 浜屋祐子さん×藤本裕子 スペシャル対談 **育児は仕事の役に立つ**

百万母力広告大賞

1300人の母を想う

ウクライナは3月12日、
自軍の死者が1300人にのぼったと発表した。

この記事はコチラ



お母さんコピーライター 杉本 蘭

Watarigoto わたしごと

西日本新聞社久留米総局 記者 大矢和世さん



佳楠(けいなん)ちゃん(1歳)



Work Style ▶福岡県久留米市を中心に筑後地区の話題の取材、調査、原稿執筆業務(1日9~10時間程度(重量労働制、休憩は適宜)/基本9時半~19時半、週休2日程度)

子育ての実感を、取材にも生かす

*どんなお仕事ですか？

福岡市に本社がある日刊新聞「西日本新聞」の新聞記者をして17年目になります。以前は文化部で美術展や作家を取材していましたが、今は久留米総局の記者として、筑後エリアの政治・経済・文化など地域のあらゆることを取材し、記事を書いています。ネタはプレスリリースや設立○周年などタイミング的なもの、自分の日常生活も含めて、アンテナに引っかかったものまでさまざまです。

*仕事のやりがいや楽しさを教えてください

取材という名目で信頼を得て、貴重な話を聞くことができることでしょうか。一生懸命にいろんなことをしている方は、その道の専門家。その言葉や視点は、とても勉強になります。クラウドファンディングの記事を書いたときには、「申し込み方法がわからなかったからと、直接お金を持ってきてくれたよ」と取材先から連絡がありました。書いた記事がアクションのきっかけになったときはうれしいですね。

*仕事に子育ての経験は生きていますか？

出産と子育てを経て、これまで見えてなかったものが見えるようになりました。私自身、不妊治療を経験し、業務の合間に病院へ行くことができましたが、ほかの仕事では難しかったかもしれません。さらに切迫早産でコロナ禍に入院、娘は低体重で生まれ、NICUに1か月入ったりと、いろんな経験をしたことで解像度がグンと上がった気がします。待機児童問題にしても、この時期に情報収集をして見学をするなど1年のサイクルがわかるため、困り事の背景にあるものが見えてくるようになりました。

*仕事と家庭の両立はできていますか？

新聞社は基本的に日中に取材をし、夕方までには記事にまとめ、夜に翌日の朝刊がカタチになるのを待つ仕事です。夜勤も休日出勤もあるので、夫と実家の協力体制があってこそ回っています。夫が前倒し出勤をして、お迎えを担当。ごはんは休日にもまとめてつくって冷凍保存。両親と夫とアプリ「みてね」で写真と保育園の連絡帳を写メして共有。連絡帳には、さいなことも書くようにしています。

*子どもに伝えたいことは？

朝起きたら、目の前に娘の顔があり、にかっこ笑う瞬間が好き。言葉はまだですが、言わんとしていることはわかるし、指図も立派にしてくれます。子どもという人間は、面白い生き物だと思っています。小さな命の種から、人間としてコミュニケーションできるようにだんだんとなっていく様をこんなに間近で見られるなんて、なかなかない機会だと思うので、思いきり楽しみたいと思います。娘には、世界は広く、いろんな人がいることを教えたい。人と比べること、決めつけることはせず、見えている世界がすべてではないと伝えたいです。見えないものを見る目を持ってほしい。物事の背景には何があっても、本を読んだり人と接したりすることで、考えたいと思っています。



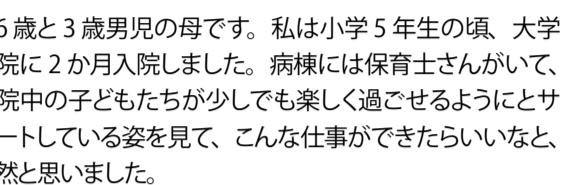
取材 / 池田彩

西日本新聞社久留米総局(久留米市篠山町12-3)にて、取材をもとにパソコンで原稿執筆中。テレビからは常にニュースが流れている。

百万人の夢宣言

子ども療養支援士になること

岸 千尋(横須賀市)

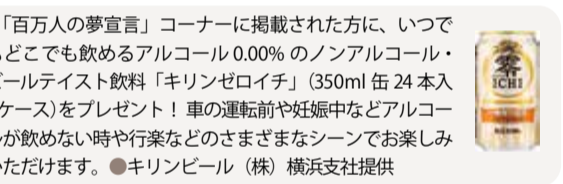


6歳と3歳男児の母です。私は小学5年生の頃、大病院に2か月入院しました。病棟には保育士さんがいて、入院中の子どもたちが少しでも楽しく過ごせるようにとサポートしている姿を見て、こんな仕事ができたらいいなと、漠然と思いました。

高校の進路指導で相談すると、「アメリカにはチャイルド・ライフ・スペシャリストという資格があるけれど、日本にはまだないね。だけど諦める必要はないよ。焦らずに、今からできることを考えたらいい」と先生。夢を叶えるために学んでおくべき3つ(英語、保育士や幼稚園教諭、心のケア)の勉強を、一緒に考えてくれました。おかげで幼児保育の道へ進み、15年になります。

ところがいつしか母となり、息子たちと毎日を慌ただしく過ごすうち、すっかり夢を忘れてしまっていたのです。そんな中、長男(当時2歳)が入院。子どもと一緒にあって不安に陥っていた私ですが、「子ども療養支援士さん」が来て、息子が眠りにつくまで絵本を読んだり、お医者さんごっこをしながら検査室まで歩いたりしてくれました。「子ども療養支援士」こそ、学生の頃に描いていた夢の仕事だと気づきました。日本でも資格ができていたのです。そして先日、今度は私が入院をすることに。しかも、なぜか小児病棟入り。コロナ禍で親と会えない子どもたちと10日間を過ごしました。そこでも活躍していたのは、子ども療養支援士さんでした。改めてスゴイ仕事だなと、自分の「やりたいたい気持ち」を再確認しました。(文・池田彩)

2022年7月30日「お母さんが夢に乾杯する日」30周年に向け「百万人の夢宣言プロジェクト」を推進中。毎週金曜日21時~、Clubhouse「お母さんが夢を語るルーム」を開催しています。誰かの夢を聞くだけで笑顔になれます。お気軽にご参加ください。



「百万人の夢宣言」コーナーに掲載された方から、いつでもどこでも飲めるアルコール0.00%のノンアルコール・ビールテイスト飲料「キリンゼロイチ」(350ml缶24本入1ケース)をプレゼント!車の運転前や妊娠中などアルコールが飲めない時や行業などのさまざまなシーンでお楽しみいただけます。●キリンビール(株)横浜支社提供

1歳5か月 今月のスモールハイライト

高田沙織 oekaki_ponpon

筋トレ(プランク)をしていると現れるちっちゃくてかわいいスフィンクス

ウクライナ支援タオルのデザインイメージ

山本さんと藤澤さん

いやさか湯

ある日の編集部

●横浜出張の目的はたしか「えほん箱プロジェクト」についてじっくり話すはずだった。が、大きな進展はなく。何しに横浜へ?といわれそうなので、初めて4日間、食したものを報告する。

●初日は、自作のおきりを新幹線でAcacia Music Cafeのカレー(小竹向原、いさか湯)で、びん風呂浴びて名物、鎌倉では、

●2日目は、鎌倉でソラフネの大豆タンパク唐揚げ定食ランチに、夜は藤本編集長の特製ひなまつり寿司。

●3日目昼食は、横浜魚市場卸協同組合厚生食堂の六子天そば、平鋪鍋火井。夜は横浜市役所2階のイタリアンレストラン L'ORANEO でピザ&パスタ。

●4日目は、お母さん大学の仲間、永安英美子さん家でホテリ住様モーニング。おかげさまで胃袋は大満足。おまけに4日間で31人に会った。オンラインではなく直接会えたこと、それだけでもお腹いっぱい。美味し夜のメは美容ハック。あく楽しい旅だった。こんな旅なら、毎月横浜に出張したいわ。(宇賀佐智子)

お母さんが笑顔になる賃貸住宅

子育てコミュニティが自然に生まれる「子育て共感賃貸住宅」です。

旭化成ホームズ × お母さん大学の共同開発によって誕生した「母力」。お母さんたちの声をカタチにした、みんなで子どもを見守り育てる住宅です。

HEBEL HAUS

KIDS DESIGN AWARD 2021

HERBEL MAISON BORIKI

つながり 信頼 共感 地域 自然

旭化成 母力



母時間コラム「人、それは心」

今月の新聞は、平和を願い、ウクライナの国旗色にした。だが、お母さん業界新聞より先にアクションした人がいた。山本信章さん(株式会社フワイル代表)は、「ウクライナ支援タオル」を製作。コンセプトの4Kは、①一人ひとりの個人に(Kojin)、②愛する家族に(Kazoku)、③ウクライナの国に(Kuni)、④地球環境に(Kankyuu)、思いを届けたいと。手がけるのは、山本さんの親友で、オーガニックコットンブランド「天衣無縫」の藤澤徹さん(株式会社新藤代表)。今回のタオルはコットン100%。山本さんが「タオルはいつでもできる?」と藤澤さんに尋ねると、「糸から織り始めているので、少しお待ちください」と。ものづくりを極める兩人らしい会話だった。

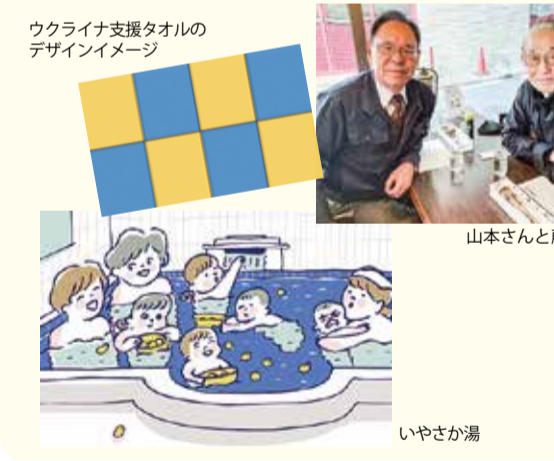
フワイルは「ケイソウくん」という自然素材の漆喰珪藻土を製造販売する会社。山本さんの大切にしている言葉は、「人、それは心」(Heart to the human)、「愛を地球に包んで」(Heart to the earth)という。

タオルといえば銭湯。私のいきつけの湯で、お母さん業界新聞を応援してくれている銭湯「いやさか湯」(横浜市鶴見区)に、ウクライナ支援タオルを置いてもらい、募金活動を提案しよう。ヨシッ!これで企画は決まり。

いやさか湯の平野善之さん(株式会社シュリーマン代表)に連絡すると、「快諾!『松の湯』(東京都墨田区)でも置きたいです。で、タオルはいつ届くの?」と二つ返事でOKに。

ちなみにいやさか湯は、皇室御用達の「深大寺そば」が食べられる唯一の銭湯。お客さんはウクライナカラーのタオルを頭のにせて湯に浸かり、タオルを首にかけてそばをすすり、子どもたちの未来のために世界平和を願う。最高の「母時間」になるに違いない。なんていい企画だろう。

お母さんのアジトでは、こんなことを次々と企んでいこうと思っている。(藤本裕子)



ウクライナ支援タオルのデザインイメージ



イラスト / 石坂香

▼お母さん大学の孤育てをなくす活動もコロナ禍で制限され、お母さん業界新聞の配布数も減った。今はじっとしているしかないのか、冬眠する蛙のような気持ちだった。だが子どもたちは待つたなしで毎日を生きて、ぐんぐん成長している。そんな姿を見ていたら、コロナ禍だからできないなんて言っている場合じゃない。横浜に、お母さん大学の新しい拠点をつくる。コロナ禍に場づくりをする。コロナが、今だからこそ意味がある。▼コロナ禍で経済が困窮した家庭も多く、おうち時間の増加によるストレスで虐待件数も増えているという。休業や廃業する企業もあれば、コロナ需要で増収になった企業もある。リモートワークは当たり前。パート切りの方で在宅ワーク需要が増えるなど、アクションするお母さんへ。▼子育てと仕事の両立に悩みは尽きない。いや、お母さん

母になったその日から、「母時間」を生きている私たち。わが子の誕生を喜ぶとともに成長を願い、笑顔さえあればいいと思うたあの日。だが次第に情報にまみれ、少しずつ「母時間」を見失ってしまつた私たち。「母時間」とは、母を感じる時間。「お母さんでよかった」と思える時間。それは、母のみに与えられた、わが子からの贈り物。母なる海を感じる。横浜みなとみらいのこの場所、めいっばい「母時間」を楽しみませんか?

▼お母さん大学の孤育てをなくす活動もコロナ禍で制限され、お母さん業界新聞の配布数も減った。今はじっとしているしかないのか、冬眠する蛙のような気持ちだった。だが子どもたちは待つたなしで毎日を生きて、ぐんぐん成長している。そんな姿を見ていたら、コロナ禍だからできないなんて言っている場合じゃない。横浜に、お母さん大学の新しい拠点をつくる。コロナ禍に場づくりをする。コロナが、今だからこそ意味がある。▼コロナ禍で経済が困窮した家庭も多く、おうち時間の増加によるストレスで虐待件数も増えているという。休業や廃業する企業もあれば、コロナ需要で増収になった企業もある。リモートワークは当たり前。パート切りの方で在宅ワーク需要が増えるなど、アクションするお母さんへ。▼子育てと仕事の両立に悩みは尽きない。いや、お母さん

だから悩むのだ。自分にできることは何か、何のためにどんな仕事を、どんな風にしたいのか。母時間とは、母を感じ、「お母さんでよかった」と思える時間。子どもと一緒にいる時間だけではなく、離れていても、わが子を感じる時間も。わが子のために、仕事や活動をする時間も、大切な未来につながる母時間だ。

▼失われた時間を取り戻す。この言葉に何かを思い出す人もいるだろう。ドイツの作家ミヒャエル・エンデの『モモ』(岩波書店)は、時間どろぼうと盗まれた時間を人間に取り返しにくれた女の子の不思議な物語。生きることの価値は物質的豊かさでははかれないと、経済社会に問題を提起する作品だ。母時間を最大限に楽しめ、笑顔になること、わが子へのお返しになるだろう。お母さんのアジトでは、そんな母時間をどうとん産み出していきたい。

▼お母さんのアジトは横浜みなとみらいの玄關口、日本丸メモリアルパークタワーA棟4、5階。運河を隔てた北仲通北第一公園は「灯台発祥の地」。

わが子を未来へと導くお母さんは、港で明かりを灯し、船を守る灯台にも似て、母なる港のタワー(灯台)に入るのも運命かと思える。▼国や企業の持続可能な社会に向けた取り組み(ESG)も増えているが、子どもたちも学校の勉強や体験を通して、ESGを学んでいる。何より、社会課題の多くはお母さんの意識一つで変えられる。お母さんには、お母さんには無限にある。お母さんの笑顔つくりは究極のESG。お母さん業界としてできることを、ここから発信していこう。

こくみん共済coop お母さん大学

「孤育て」をなくそうプロジェクト

“あんしんの窓口”共済ショップで「お母さん業界新聞」を無料配布!

※1世帯につき1部

保障に関する心配事も、ご相談いただけます。

自分に合う保障が知りたい!

子どもの保障ってありますか?

スタッフが親身に対応いたします!

お近くの窓口はこちら▶

こくみん共済(全労済) オンライン(パソコン・スマホ)でも保障相談いただけます。詳細は当会ホームページから

オンライン MJプロ養成講座受講生募集中!

MJプロとは「お母さんの笑顔で未来をつくる人。さまざまな社会課題を解決していきます。」

【5月】5月21日(土)

【6月】6月25日(土)

■時間とカリキュラム

1 時限目 / 基本 9:00 - 12:00 MJプロとは? 子育て社会を考える母としてペンを持つこと

2 時限目 / 文章 13:00 - 16:00 伝わる文章を(ライティング・テクニカル)

3 時限目 / 企画 18:00 - 21:00 新聞・企画書・プレゼンの実践

■受講料

- ・一般 23,000円
- ・お母さん大学生(定期購読者) 15,000円

詳細・申込み▶ <https://www.okaasan.net/mj-pro/>

お母さん大学 MJ プロ本部 (株式会社お母さん業界新聞社) 横浜市神奈川区大野町 1-8-406 info@30ans.com 045-444-4030

2022.4 Vol.4

優気百倍 お父さん業界新聞

編集長 / 藤吉信仁



お父さん 図鑑 30

教えて、お母さん!

「お父さんに、これだけはやめてほしいこと」

- 1 勝手に置き場所変更 / 元の場所に戻さないばかりか想定外のあり得ない場所に置く。先日は食用油が冷蔵庫の中に、ないと思って新品開けちゃった(天野智子)
2 ストック未確認&補充依頼 / 日用品や調味料がきれると、「○○なくなったよ〜」と言ってくる。結婚生活10年、もうわかるよね!? (脇田比呂子)
3 大きな声 / 普通の会話中でも子どもたちから「たっただそれぐらいで怒らなくてよ!」と言われるほど大きい。「怒ってないよ!」の返答も怖い(野中文恵)
4 キッチン流しに飲んだ後のごみを置くこと / ペットボトルはラベルを剥がして中を洗うんですよ! 誰の仕事なのかと思いつつ片付けている(西宇可奈子)
5 換気妨害 / 換気のために窓を開けているのに、片っ端から閉めてくる。でも、トイレのドアは開けっぱなし。どういことなんだろう… (山崎恵)
6 もしかしてほすべて / 元夫は子どもの寝ているときに帰宅してそのまま夕飯の支度を要求、電話がつかないとき、寒い日は外出禁止だった(安藤裕子)
7 怒りが先にくること / 私や子どもたちの皿を割ったり物を落としたりの失敗に「なんしょつ」とキレる。まず、安全や無事を心配してもらいたい(池田彩)
8 とにかく長いこと / トイレが長い、お風呂が長い、ちょっと出かけて帰ってこない。自分の世界もいっけー応共同生活なので気にしてくれ〜! (福田直清)
9 掃除機かけすぎ! / 休みのときは1日5回。家族の食事中や子どもの宿題中でも構わず自分の「今」というタイミングで。私もかけているんだけどな(池末明美)
10 言葉遣い / イライラすると「早く食べ」、「どいて」など言葉が荒くなる。息子が電車で席を譲ってくれた女性に「どいて」と言って、凍りつきました(山中実詩)
11 自分のよだれを子どものおねしょと疑うこと / 疲れているのわかります、整体後に気持ち良くなるのわかります。よだれも仕方ない(竹村こずえ)
12 お菓子の買いすぎ / 食べきれずに封が開いて、温気っているものを整理するもその状態は1週間もたない。私のお菓子の置き場はいすこ!(吉村優)
13 突然の大掃除 / 休日に掃除してくれるのはありがたいが、大規模すぎる。日中は埃まみれ。せっかく予定がない日なのに、何もできずヘトヘトに(井谷裕子)
14 臨機応変にできないところ / 決めたらなかなか曲げない夫。イヤイヤ期の娘に合わせ、もう少しゆるい柔軟に考えてほしい(中野美鈴)
15 待たされ顔 / 出かけるとき、自分だけさっさと車に乗り込んで、さも待ってる感を出す。こっちは子どもの準備、火や戸締りの確認などやっているのに(矢吹敦子)
16 洗濯物への無関心 / お困り状態の靴下、裏返しのままの服、着替えの回数が多い、色物も構わず入れる。ちょっとだけ気をつけてくれたらいいのに(岸千尋)
17 末っ子のためと言いつつ / 仕事帰りにお酒とおつまみを買ってくる。末っ子と呼ばれ夕飯前に食べさせないで、自分が食べたいだけと認めて(田端真紀)
18 「ちょっと待って、あとでやる」 / 2日以上放置の脱ぎ捨てた服、出しない物。一人暮らしのような感覚はいいかげんにやめてほしい(都築恵)
19 洗濯機のごみとりに気がつく / とることを楽しみにしているのに、「ごみたまつたよ」とドヤ顔することもなく、スマートに捨てるのはやめて(宇賀佐智子)
20 怒りを被せてくること / 夫が怒っているときはなるべく冷静に聞きに徹するの、私が怒っていると、上乗せしてくるから大炎上! お互い支え合いたい(高田沙織)
21 自分で判断して / 小さなこと、一度同意したことも「どうする?」と何度も聞いてくる。家事育児仕事を回すのに頭フル回転して疲れているんだから(安達真依)
22 「働はわらない」と家事育児から逃げる / 私料理や子どもの行事、初めてのことも調べたり努力しているのに、わかろうとする姿勢を見せてほしい(藤川綾子)
23 頼んでも忘れる / 朝のごみ捨ては旦那さんの当番なのに、玄関に置いたまま出勤。彼の中で優先順位が低いんだろうなと思っています(青柳真帆)
24 排水口の生ごみ / 自主的に食器洗い、コンロの掃除、でも生ごみは放置。指摘して「やらない」といじけても困るので、後でこっそり捨てています(木崎晴)
25 換気扇の下で喫煙 / ベランダで吸っていたが、蚊に刺されてかわいそうで一度許した日からずっと吸うように。臭い煙。言わなきゃよかった(田川幸乃)
26 人を利用することはよく考えていること / あれこれ命令する前に、まずは段取りや計画を伝えてほしい。←長女の意見です(中村泰子)
27 夜勤明けにリビングで寝ること / 疲れているのはわかるけど、わんぱくBOYSを静かにさせるのは至難の技。私も疲れるし、あなたも寝不足よな?(富本真理子)
28 「お母さんにやってもらって」 / 子どもがお願いしているのに、なぜ夕飯の支度や風呂掃除をしている私にふるのか? 頼ってもらえる父になれるチャンスよ(岩本愛)
29 してやっってる感 / 子どもたちもそれぞれちゃんとやっているし、家のことは私と決めつけないで。家族なんだから家事も子育ても一緒にやるのが当たり前でしょ(榊澤恵美子)
30 娘や私の前でも平気でオナラする / 「出ちゃった」なら許せるけど、意識してするのは許せない。挙句の果てに、臭くないだろう! と自慢するのサマシイ(藤本裕子)

パパライフ PAPA Life Rally

初めて専業主夫になったのはみたもの、離乳食をつくっても長女はまるで食べないんだ。味つけなのか何なのか、まるでわかなくて。ある時、娘のスプーンで自分で食べてハッとした。かわいんだけど厚みがあって口当たりが良くないんだ。これかと思いつつ、スプーンを変えたらバクバク状態。大発見! そのへんからかな、ゲーム好きだった



新刊刊行を目前に、合間をぬってのお話、ありがとうございました! (取材/藤吉信仁)

ひよんなことから専業主夫に サトシン(佐藤伸)さん / 新潟市

『うんこ』『おてて絵本』などでおなじみの絵本作家サトシンさんは3児のパパ。30数年前は専業主夫をしていたとのこと。当時のエピソードを聞いてみました。 突然だった辞職の申し出

バブル期当時は会社勤めのコピーライターだったんだけど、子どもが生まれた際、夫婦で新潟からの上京で頼るジジババもおらず、看護師のカミサンが出産・育児休業を取得。子育ては全面的にお任せ。 育児休業明け、「仕事復帰したら? オレは家でもできる仕事だし」と冗談で言ったところ、「じゃあ辞めて!」と孤独な育児はかなりのストレスだったよって大爆発。「え〜…じゃあ辞めるわ」と翌日、会社に辞めることを伝え、すつたもんだあつたけど、夫婦逆転の「専業主夫」になったんだよね。

育児はシミュレーションゲーム 最初は専業主夫になつてはみたものの、離乳食をつくっても長女はまるで食べないんだ。味つけなのか何なのか、まるでわかなくて。ある時、娘のスプーンで自分で食べてハッとした。かわいんだけど厚みがあって口当たりが良くないんだ。これかと思いつつ、スプーンを変えたらバクバク状態。大発見! そのへんからかな、ゲーム好きだった

『おてて絵本』もその時期わが家でやってたお話ごっこ。子どもとの関わりが人生に彩りを与え、絵本創作のベールにもなっている。 お父さんも仕事ばかりじゃもったいない。子育てならではのオモシロ体験ばんばん味わってほしいね。と、これはオレからパパたちに向けてのメッセージだよ。

Book お兄ちゃんの喜びや戸惑いを描く幸せな絵本 『あかちゃんがきた!』

あるひ、おかあさんに、あかちゃんがうまれることを告げられる男の子。誕生を待つドキドキやお兄ちゃんになるワクワク。そんなうれしさや驚きなど、初めての感情をやさしい言葉とあたたかい絵で表現しています。

ページをめくるたびにお兄ちゃんらしさがどんどん出てきて、妹をかわいがるその姿にはほっこりさせられます。 気づけば当たり前な存在の家族。わが家にきてくれてありがとう! って、家族の大切さを改めて教えてもらえました。すべての家族におすすめしたい一冊です。

●プレゼント希望者は、氏名、住所、TELを書いて編集部へ(4/20必着)

【アジギパン吉一言日記】 お父さん図鑑30はいかがでしたか? 換気している窓を片っ端から開けていって、まさに自分と同じで大爆笑でした。ほかにも当てはまることだらけ。でも一方で、自分だけではなかったと黒い安心感が生まれたり。奥様からの注文は、3分程度で終わりそうな小さなお話が多いと思うんです。仕事で疲れて身も心もフラフラかもしれないけど、3分作業をその場でパッとやるだけで、そのあとの家の雰囲気ガラッと変わるなら、つべこべ言わずにやるしかないですね。はい、やります。



FATHER ゴコロ 愛おしい娘 青柳伶旺 / 多摩市

2022年3月4日11時5分、娘が生まれました。待望の第一子だ。

妻のお腹に彼女がいると聞いたとき、不安だった。「きついいお父さんになるね!」「デレデレになるんじゃない?」娘大好きのお父さんになるはずと、周囲からレッテルを貼られていたからだ。だが「娘がかわいい」という気持ちが、本当に自分の中からわいてくるのか、それとも周囲の期待に応えるためにそう思い込むのか、判断がつかなかった。

しかし娘の産声を聞いたとき、不安は吹き飛んだ。血まみれでサルのようなしわだらけのお顔。それでも言いようがなく愛おしく、涙が溢れ出した。

誕生から数日。娘は横ですやすやと眠っている。この子の成長が今後の一番の楽しみになることは間違いなさそうだ。なら自信を持って、親ばかぶりを発揮してやろう!



全国で香ちゃんを捜してください! 連絡先 神奈川県旭警察署 TEL045-361-0110



平成3年10月1日15時50分頃、横浜市旭区本宿町に住む野村香ちゃん(当時小学校3年生)が、行方不明になって30年が経過した。有力な目撃証言はほとんどない。何らかの情報をお持ちの方は、今すぐご連絡ください!



30年前に行方不明になった野村香ちゃん 行方不明当時(8歳)

『月刊お母さん業界新聞』Vol.166 (2022年4月)

- 部数 / 7万部 □発行 / お母さん大学
□発行人 / 藤本裕子(編集長)
□編集チーフ / 青柳真美
□矢吹康文、宇賀佐智子、池田彩、植地宏美、安達真依、田村由佳利
□デザイン / 金子涼子 □イラスト / 石坂香
□印刷 / 星光社印刷株式会社
□制作 / 株式会社お母さん業界新聞社(お母さん大学) 〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町1-8-406 TEL045-444-4030 FAX045-444-4031 E-mail: info@30ans.com



【お母さん大学】 https://www.okaasan.net/
□お母さん大学学費(お母さん記者) / 年間6000円(新聞・送料込)
□お母さん業界新聞(購読のみ) / 年間6000円(新聞・送料込)

●お母さん業界新聞は自動更新です。お母さん大学 STOREでお申込みの方は【定期便】自動更新。郵便振替と銀行振込でお申込みの方は満了1か月前に「購読満了のお知らせ」を新聞と同送します。購読中止は必ずご連絡ください。

一お母さん大学とお母さん業界新聞について 一 お申込みについて一

「お母さん大学」は、お母さんの学びと交流の場。新聞(お母さん業界新聞)+WEB(お母さん大学サイト)+活動(百万母力プロジェクト)で発信、一人のお母さんから百万人のお母さんへ、お母さんの笑顔をつないでいます。お母さん大学のテキストでもある「お母さん業界新聞」はフツーのお母さん(MJ記者)が発信する、お母さんのための共感新聞。新聞配布は「母ゴコロの種まき」といわれ、孤育てをなくし、笑顔をつなぐ活動です。

お母さん大学への入学はサイトからお申込みを。ネット決済は「お母さん大学 STORE」(QR)にて【定期便】お母さん大学学費(お母さん記者) / 月(お母さん業界新聞付き)と【定期便】月刊「お母さん業界新聞」(購読のみ)から選択。郵便振替・銀行振込も可能です。



HAND-made-MISO 手軽にオシャレに手前味噌 / サクッと仕込めて、驚くほどスマート! 少量仕上がりなので、初めての方にもおすすめです。 3,240円(税込)
+クール送料は、エリアごとに異なります(税込1,100円~2,310円)。コンビニ決済・キャリア決済、銀行振込は、別途手数料がかかります。詳しくは、ECサイト参照。
ご注文は EC サイトから
大豆は、プロが絶妙な蒸し加減でお届け!
大豆と米は国産、塩は天日塩を使用。
容器や重石不要! かわいいロゴマーク付きの袋で熟成!
【商品詳細】 蒸し大豆...800g、米麹...650g、天日塩...220g、種味噌...200g、熟成用の袋...1枚
※蒸し大豆は、生大豆400g分です。水分量等の影響により、内容量に誤差が生じる場合がございます。
●要冷凍(-18℃以下で保存) ※天日塩と熟成用の袋は、到着後常温保管。 ●仕込み期限約30日